

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	5-1-2		事業名	「教えて！ファイヤーマン」事業の充実
担当	消防局予防部予防課 浦瀧 裕嗣 215-2040			
全体計画（当初）				
事業内容	この事業は、市立小学校第4学年の児童を対象として、学校教育のカリキュラムに「防火・防災・救急」に関する学習を組み込んだものである。授業では、オレンジ色の救助衣や活動服、制服姿の消防職員が教壇に立ち、消防活動の体験談や模擬装置を活用して正しい119番通報や煙からの避難方法等を教えるほか、実際に災害現場で使用する様々な消防資機材を手にとって実感してもらおう等、体験型授業を通して「防火・防災・救急」の基礎等を身につけてもらうとともに、「命の尊さ」について児童に伝える。		<年度別の事業内容> 実施希望があった全小学校で実施する。	
	平成16年度事業内容（決算） 市立小学校全208校中、実施希望があった全115校・児童約9,000名を対象に実施。		平成17年度事業内容（決算） 市立小学校全209校中、実施希望があった全172校・児童約13,000名を対象に実施。	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算） 市立小学校全209校中、実施希望があった全203校・児童約15,300名を対象に実施。		評価（成果） ・実施率が市立小学校中97%であることに加え、受講した児童の89%が学習内容を理解しており、より多くの子どもたちに防火、防災、救急の基礎や、命の尊さを伝えることができています（実績値及びアンケート結果）。 ・児童、教諭、保護者から、「体験しながら学ぶ点」や「災害現場で活動する消防士から学ぶ点」等に対して、高い評価を得ている（アンケート結果）。	
			課題 ・児童のみならず、家庭及び地域への防火意識の拡がり ・授業実施に係る講師の業務負担、時間外手当の経費負担 ・教材及び資機材等の整備	
19年度以降の方向性・事業の予定				
<ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校全209校での実施を目標とし、以後、継続して実施する。 ・講師となる職員の資質向上を図り、教材及び資機材を質・量ともに充実させ、より良い環境での授業の実施を目指し、学習効果の高い授業を行なう。 ・小学校の授業参観日と併せて実施するなど、児童以外の参観父兄にも防火、防災意識の向上を図る。 				

